

補習校だより

2018年6月10日発行



今年度のテヘラン日本語補習授業校の修了式が5月17日に行われ、早くも2週間が過ぎました。当日は、保護者ならびにご来賓の方々の前で学習発表会も行い、子どもたちも張り切って自分たちの学習成果を発表できました。

小学生達は現地校の学年末テストが終わり、すでに夏休みが始まっています。中学生以上の生徒も、もうひと頑張りです。学年末テストから解放されて晴れての夏休みです。今まで頑張ってきたからこそ、夏休み中に何をしようかと考えるのはワクワクしますね！

長い夏休みだからこそ出来ることはたくさんあります。今までできなくて挑戦したいことや、目標を考えて、充実した休みを過ごしたいですね。

※2018年度第1回目授業は9月27日(メヘル月5日)を予定しています。



行事報告

2017 年度修了式

2017 年度修了式は、昨年度同様、第一部を学習発表会、第二部を修了式の二部構成で行いました。



鈴木友美先生が担当する3年生クラスは、今年度に行われた行事のことを書いた作文をそれぞれが発表しました。

トーマンイラン社への社会見学、日本人学校との交流授業、補習校バザー、折り染め体験、茶道体験・・・今年は外部から補習校を支援していただける機会に恵まれ、例年よりもたくさんの行事体験をすることができました。



水越里絵先生が担当の中学部は、古典の故事成語「矛盾」、「五十歩百歩」について発表しました。

最初に漢文の書き下し文を読んで、それらを現代語訳した寸劇の発表をしました。発表の後に、日本人学校の亀山校長先生より講評をいただき、第一部を

ファラハングサラの館長あいさつにはじまり、第一部、学習発表会は各クラスごとにテーマを決めて補習校生全員が発表をしました。

原幸子先生担当の2、4年生クラスは、2年生が教科書『あったらいいな、こんなもの』を読んで考えた道具の発表、4年生は毎年恒例の自分たちで作った新聞を配り、当日は自作の詩の発表を行いました。



長谷川可奈子先生担当の5、6年生クラスは、さまざまな日本語の使い方を調べて発表しました。

5年生が目などの顔の一部を使った慣用句を集めて発表し、6年生クラスは改定前の教科書『言葉は動く』を読んで、近代と現代の言葉の移り変わりについてクイズ形式で発表しました。





しめくりました。

第二部は国歌斉唱の後、在イラン日本国大使館、鈴木公使より修了証書と記念品授与、ご祝辞は鈴木公使と日本人会会長の相澤様より頂戴いたしました。謝辞は補習校教員代表のの長谷川より、最後に校歌斉唱で締めくりました。

修了式に参加した全員の力で、素晴らしいそして、補習校らしい式になりました。

お忙しい中、ご参列いただいたご来賓の皆様、補習校一同より感謝を申し上げます。



教員よりメッセージ

★ 2、4年生クラス 教員 原幸子

今年度の補習校も無事に終了し、ほっとしています。皆様、お疲れ様でした。一週間に一度の集まり、今年度の授業回数は、22回(課外授業は含まない)と少なく、教科書に沿って進めるのは、かけ足になりがちでした。

しかし、生徒の元気な号令から始まる二時間の限られた時間を、集中してがんばれたと思います。

一時間は、学年ごとに進出漢字を学習します。それらが全て終わると、各学年の全範囲テストにチャレンジです。みんなノートにたくさん練習してありました。良い結果が出た子、忘れてしまい力が出しきれなかった子、それぞれに一学年を振り返るいい機会でした。

そもそもイランで暮らし、日本語が街中で自然に目に入る環境ではないので、自ら漢字ドリルを開き、練習することが欠かせません。

毎回の小漢字テストで高得点を取っても、次の週には忘れてしまう・・・学年が上が

っていくにつれ、画数も多い難しい熟語の連発、生徒いわく、似ている漢字が多すぎる！どうして中国から漢字が入ってきたの！と、終わりなき漢字との戦いです。

では、漢字は勉強しないで他の国語の勉強をと考えても、漢字なしでは教科書をはじめ、文章読解などの問題も読めないし、内容を理解することができないという問題にぶち当たります。

ひらがなとカタカナだけで書いたら・・・読みづらいし、同じ音で違う意味を持つ言葉がたくさんあり解りづらい。また、日本語を勉強し始めたばかりかなと思われがちです。

今の時代は、手書きの文章よりパソコンや携帯電話などで、文字を打つ事が多くて、入力したら自動的に変換されます。しかし、たくさんの変換漢字候補の中から、正しい漢字を選ぶ力も必要なところ。

やはり、漢字の勉強は欠かせません。それも一回二回書いただけでは難しく、繰り返しの練習で身に付いていくと思います。補習校だけでは時間が足りないので、家庭学習で定着を目指していきましょう。

長い夏休みには本年度に習った漢字と復習を、特に低・中学年で習った漢字を見直してみませんか。簡単な漢字ですが忘れやすいので、確実に覚えておくと、大人になっても使えます。

もちろん漢字だけではなく、ご家庭での会話は日本語で話し、たくさんの時間を共有して思い出を作ってください。

日常の会話を超えた内容をもつ本やマンガを読んで、心に残る一冊に出会えることを願っています。

また来年度に一緒に勉強できることを楽しみにしています。



★ 3 年クラス 教員 鈴木友美

月日がたつのはあっという間、清々しく行われた補習校修了式からもう数週間すぎてしまいました。日差しもすっかりイランの夏の厳しいものとなり、日中の外出はつらくなってきました。

ひょんなことで今年度、初めて本教員として、至らないながらも教鞭をとることになりましたが、反対に、授業を通じていろいろ教わることも多々ありました。自分の通学とも重なり時間的には多忙ではありましたが、とても充実した糧の多い時間を過ごせたことに感謝いたします。

今年度の3年クラス六名のお友達は、ほとんどが教員のお子さんということもあり、保護者の熱心なご協力のもとに、宿題、漢字テスト、授業理解度、どれをとってもすばらしく優れていました。あえていうなら、年少時からずっと同じクラスメイトで慣れているせいか、授業中、元気すぎるのがたまにキズ。。。

修了式もおふざけの練習ぶりに「本番ちゃんとできるかしら・・・？」と私の心配もよそに、教えたとおりに、ビシッと挨拶、ビシッとお辞儀、大きな声でゆっくり発表、と満点の発表ぶりには内心驚きました。

明るく、元気で、有り余るほどのエネルギーを持っているけど、やるときはやる！3年生クラス、来期はさらにイランの学年も上がり、課題におわれ、日本語の勉強時間をとるのがさらに難しくなることが予想されますが、将来の為に、またビシッときめてほしいなと願います。



★ 5、6年生クラス 教員 長谷川可奈子

皆さん一年を振り返り、自分なりに今年はどれくらい日本語を覚えましたか？

宿題の一行日記に

「もう限界です。今、夜中2時です。」というコメントや、

「先生、アラビア語のテストがあり、全く覚えられない。今週は日本語どころではなかったです。」と聞いたり、

「サッカーの後、疲れて寝てしまい、夜宿題をやらせる為に起こしたのですが、起きませんでした。」というお母さんからの伝言など、本当に学年が上がるごとに、両立がいかに大変なことだと、ヒシヒシと伝わってくる一年でした。

でも、ある生徒から

「先生、去年は漢字がいまいち覚えられなかったけど、今年は自分でも不思議と、出来るようになった気がする！」と、嬉しい報告もありました。

そうなんです。補習校の勉強はとても大変ですが、毎日コツコツと積み重ねた事で、ある日突然

「なんか分かるようになった！前よりできる。」と思える日が必ずきます。

一人一人、日本語を覚えるペースは違いますが、自分のペースでいいので続けることが一番大切です。

補習校の勉強はまさに【継続は力なり】。

私も、補習校で日本語を子どもたちと一緒に勉強する機会をいただき、日本ではなかなか気づくことのなかった、日本語独特の言葉の美しさを改めて知ることができました。

来期も子どもたちと共に学び、日本語の奥深さ、美しさをより深く伝える事ができるように頑張りたいと思います。



★ 中学部 教員 水越里恵

『修了式を終えて』

今年初めて中学部を担当しました。5、6年生からずっと受け持ってきた生徒達なので、気心は知れたもの。気心知れすぎて、ということも多々ありましたが。

中学生になり、助け合って勉強する雰囲気が生まれたことも、このクラスの良さでした。

みんなイランの中学校での勉強が忙しい中、よく頑張りました。

文章を書いたり、何かを覚えたりすることは面倒がる子どもたちですが、最後にはきちんとやり切る底力があります。修了式の劇の発表も最初は難しすぎるかな、というのが正直な気持ちでした。けれど、お母さん方の協力と子ども達のがんばりに助けられ、本当にいい発表になりました。

中学部は、小学部と違ってこれからの自分が日本語とどのように向き合っていくのか考えていく時期にきていると思います。なぜなら、将来の進路と大きく関係してくるからです。

例えば、将来イランで進学するのか、または日本での進学を視野にいれているかによって、基礎の漢字を覚えることに加えて、作文力、読解力など、何を重点的に勉強していくのか、取捨選択をせまられることもあるかもしれません。



例えばイランでの生活を選んだ時でも、日本語を0(ゼロ)にしないで、続けていってほしいと思います。

ここまで、続けてきた自分に誇りをもって、秋からまた、一緒に頑張りましょう。

お知らせ

ペットボトルキャップを集めてください！！

ご存知の方も多いでしょうが、テヘラン日本人学校はペットボトルキャップを集めて、イランでボランティア活動に協力しているのは知っていましたか。NGO 団体「テヘランセキソン協会 (Spinal Cord Injury Association of Tehran)」に、集めたペットボトルキャップを持っていく事で、体の不自由な方に車いすを寄付できるそうです。詳しくは学校新聞『ハメドウースト』平成 29 年度 11 号に載っていますが、すでに 1 万個以上のキャップが集まり、園芸飼育環境保全委員会の児童生徒 3 名が寄付しに行っています。今年度の委員会のお友達から補習校に、参加を呼びかけるポスターも戴きました。

「千里の道も一歩から」 私たちにもできる事はありますね！



編集後記

おかげ様で、とうとう今年度の補習校だよりも最終号となりました。一年間お付き合いを戴き、ありがとうございました。夏休み中は、楽しい思い出をたくさん作って、新学期にまた元気にお会いしましょう。

(鈴木淳子)

テヘラン日本語補習校 生徒募集

テヘラン日本語補習校は 2009 年に日本人保護者の有志によって創設されました。日本人とイラン人のハーフの学校というイメージがありますが、そんなことはありません。ご両親の都合でイランに滞在し、インターナショナルスクール等に通わせている日本人のお子さん、日本で生まれ育ちイランに帰国してからも日本語を学びたいと考えているイラン人のお子さんなど、日本語でコミュニケーションのとれる子供ならどなたでもお越しいただけます。実年齢に相当する国語力がなくてもご心配ありません。補習校には実年齢より下の学年で一生懸命学ぶ子もたくさんいます。ご興味のある方は、開校期間中の木曜日に見学受付しております。

★対象年齢 6 歳(一年生)～15 歳(中学三年生)まで(新入生のみ)

★日時 毎週木曜日 10:30～12:30 2 時間の授業 間休憩あり
《9 月から翌年 5 月(イランのメフル月第 1 週から
オルディーベヘシュト月末頃まで 年間 23 回予定＋行事》

★クラス ・小学 1～2 年生クラス ・小学 3～4 年生クラス
・小学 5～6 年生クラス ・中学部クラス

★教員 4 名 補助教員 3 名 計 7 名

★料金 入学金 15,000トマン
昨年度授業料 1 回 16,500トマン
(物価上昇につき、値上げの検討中)

★場所 Hane Farahang BaSafa(ハネイエ ファラハンギ バーサファー)
Bolwar Ferdous Shargi Entehaye Vafa Azar Shomali
Entehaye Kuche Golzar Samte Rast

★お問い合わせ先 <mailto:teheran.nihongo2@gmail.com>

見学希望の方、詳しいお問い合わせは上記までお願いします。